

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	はくほう会医療専門学校明石校
設置者名	医療法人伯鳳会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	84 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://hakuho-isen.ac.jp/akashi/disclosure/">http://hakuho-isen.ac.jp/akashi/disclosure/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	はくほう会医療専門学校明石校
設置者名	医療法人伯鳳会

### 1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	運営会議
役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校の規程、教育方針・教育計画及び教育内容に関すること</li> <li>(2) 単位認定に関すること</li> <li>(3) 職員に関すること</li> <li>(4) 学生募集及び入学試験に関すること</li> <li>(5) 入学及び卒業に関すること</li> <li>(6) 学生の不正行為に対する処分に関すること</li> <li>(7) その他学校の管理及び運営に関して必要と認められること</li> </ul>

### 2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
医療法人伯鳳会 赤穂中央病院 相談役（前看護部長）	2022. 4. 1 ~ 2024. 3. 31	学校設立に貢献
医療法人伯鳳会 赤穂中央病院 看護部長	2022. 4. 1 ~ 2024. 3. 31	実習先施設の看護部長
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	はくほう会医療専門学校明石校
設置者名	医療法人伯鳳会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教育理念に基づいた教育目標を設定し、各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目標・使用テキスト・成績評価方法・受講にあたっての注意事項を記載している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>各学生に配布およびホームページ上での公表  <a href="http://hakuho-isen.ac.jp/akashi/disclosure">http://hakuho-isen.ac.jp/akashi/disclosure</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>教育課程により、修了すべき各授業科目について学科試験及び実習評価の合格者に対して、学校運営会議にて当該授業科目所定の単位を認定している。実習に関しては症例研究発表を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価において、すべての授業科目（演習を含む）を100点満点とし、60点以上を合格とする。 学年毎に成績分布状表を作成し、分布状況を把握している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p><a href="http://hakuho-isen.ac.jp/akashi/disclosure/">http://hakuho-isen.ac.jp/akashi/disclosure/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定は、別表1に定める卒業必修単位を修得した者に対し、学校運営会議にて卒業判定をおこなっている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p><a href="http://hakuho-isen.ac.jp/akashi/disclosure/">http://hakuho-isen.ac.jp/akashi/disclosure/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	はくほう会医療専門学校明石校
設置者名	医療法人伯鳳会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://hakuho-isen.ac.jp/akashi/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,000/99 単位時間/単位	1,965/76 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,035/23 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,000/99 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		120人	0人	7人	18人	25人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 担当教員が授業目的を達成できるよう授業内容・方法などの授業計画（シラバス）を作成し、実施する。
成績評価の基準・方法
（概要）学科試験の評価は、優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（60点未満）とする。実習評価は、授業科目別の評価表を用いて、各々の実習場所別に行い、実習実施時間の3分の2を満たし、実習課題を修了し、指定された実習記録物を提出した者について優（A）、良（B）、可（C）、不可（D）で評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定は、別表1に定める卒業必修単位を修得した者に対し、学校運営会議にて卒業判定をおこなっている。
学修支援等

(概要)  
担当教員により個別に支援している。また、国試対策として合宿を年2回程度(夏・冬)行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
39人 (100%)	0人 (%)	39人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 看護師として病院に就職			
(就職指導内容) 各担当教員が学生の希望を聞き、就職担当教員へ伝えている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
128人	9人	7.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更による退学。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 退学希望者には一旦休学を勧め、検討する時間的猶予を与えてから復学を促している。		

## ②学校単位の情報

### a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
看護	300,000円	500,000円	100,000円	その他:施設充実費(年間)
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				



b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://hakuho-isen.ac.jp/akashi/disclosure/">http://hakuho-isen.ac.jp/akashi/disclosure/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) (具体的な評価項目) ①教育理念・教育目的②教育目標③教育課程経営④教授・学習・評価過程⑤経営・管理過程⑥入学⑦卒業・就職・進学⑧地域社会・国際交流⑨研究に基づいた評価項目による評価を行う。 (評価委員会の構成) 教育に関する有識者・卒業生・専門分野委員のいずれかから選出し校長が委嘱、2名 以上の委員の参加による学校評価を行う。 (評価結果の活用方法) 学校関係者評価の結果を公表し、評価結果に基づき学校長のもと次年度からの学校運営体制の改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
医療法人伯鳳会赤穂中央病院 相談役	2022. 4. 1～2024. 3. 31	専門分野委員
医療法人伯鳳会赤穂中央病院 看護部長	2022. 4. 1～2024. 3. 31	専門分野委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://hakuho-isen.ac.jp/akashi/disclosure/">http://hakuho-isen.ac.jp/akashi/disclosure/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
-----------------------------

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	はくほう会医療専門学校明石校
設置者名	医療法人伯鳳会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		一人	一人	一人
内 訳	第Ⅰ区分	一人	一人	
	第Ⅱ区分	一人	一人	
	第Ⅲ区分	0人	一人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				一人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数



年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)
------

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	4人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。